（郵便物認可）　第千百六十五號　（日曜日休刊）　（定價三錢）

時事新報

明治十九年一月六日・水曜日
壽乙酉十二月二日　（丙寅）

日出午前七時十二分　入午前七時零二分
月出午前五時五十九分　入午後五時五十九分
潮汐午前六時二十八分　午後六時三十八分
（西暦一千八百八十六年）

時事新報定價
一枚金五錢○一箇月壽金六十五錢○三箇月前金一圓八十錢○六箇月前金三圓四十錢○一箇年前金六圓五十錢○郵便税一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢○左ニ掲ル各地ニ於テハ郵便料ニテ配達致候
東京　横濱　横須賀　千住　小田原　酒匂　七湯
東京郊外　大沼　神戸　尾ノ道　關山　笠岡　岡山　廣島　馬場
和歌山　鳴門　高知　下ノ關　名古屋　敦賀　阜　岡崎　豐橋
岡山　市川　松坂　山田　仙臺　福島　二本松　石ノ巻
岡崎　青森　弘前　宇都宮　高崎　八王子　千住　草加
越ケ谷　青梅　杉戸　幸手　久喜　關宿　千葉　登戸
春日部　佐倉　東金　市川　八幡　船橋
其他同地近傍配達便宜ノ個所ハ同シク郵便料不申受候
時事新報廣告料（前金）一行ニ付

一行	二日以上	七日以上	十五日以上	十六日以上	一箇月以上
一行	六日迄	十四日迄	一箇月迄	三箇月迄	一箇年迄
百五十行以上	錢 七	錢 七	錢 七	錢 八	錢 十
百五十行	錢 六	錢 六	錢 六	錢 七	錢 九
百行	錢 五	錢 五	錢 五	錢 六	錢 八
五十行	錢 四	錢 四	錢 四	錢 五	錢 七
三十行	錢 三	錢 三	錢 三	錢 四	錢 六
十行	錢 二	錢 二	錢 二	錢 三	錢 五
一行	錢 一	錢 一	錢 一	錢 二	錢 四
一日以上	錢 八	錢 八	錢 八	錢 一	錢 三
一日迄	錢 五	錢 五	錢 五	錢 一	錢 二

一行廿四字詰　一日限　二日以上　七日以上　十五日迄　十六日以上　一箇月以上

時事報報

朝鮮國小なるも日本との關係は小なふせ我々日本人ハ朝鮮國の事と度外して可あるべからや曰く甚だ不可なり何とあれば朝鮮は日本最近の隣國にして其地勢日本の西亞支那三國中間の形勝と占め東洋の大勢上其關係そる所決して容易あらず此國の興廢存亡い勿論内乱一揆、文明の進否、商業の盛衰に至るまで其一動一靜總て皆我日本に影響を及ぼさゝるなしこれを如何ぞ日本人にして朝鮮の國事と度外視すると得んや然るとも朝鮮國は日本と緊と爲す一度にして止まらず其最も甚しかは明治十五年七月と明治十七年十二月と京城兩度の騒乱なり此兩度に日本人の生命と失ふ者合せて五十幾名日本政府の公財幷に日本人民の私財を費すこと又幾百萬圓決して多からずと云ふと得ず而して其返報として日本人の得たる所と見るに土地財貨と得たるにもあらず新さは商業工業の利源と開きたるにもあらず左すれば他に無形の情誼感意にても買ひたるかと云ふに目下朝鮮の人氣を見れば日本人を厭ふの心と大に前日に増したる痕跡はあるも減したる兆候とてはなきが如しこれぞ正しく怨と施して怨を買ひたるものあるして人間世界これ程迄悲惨となかるべし斯る無恥無情の國民と永く關係と維持して自から損害と招くは徒らに世の嘲笑ひたるに過きざればと斷然兩國の關係を絶たんとするも今日の時勢に於てこれと如何ともそること能はず日本朝鮮兩國間の關係い自今月に日に益〻緊多近密と加へ又其緊要重大を加ふべき傾きれみありて更に妻鑑すべき兆候なし此際此關係を絶たんとするい人力の及ぶ所に非らざるは勿論鬼神といへども亦れと如何ともそること能はざるべき若しも強ひて日本人が自から我耳目を閉ぢ朝鮮の事は故らに聞かず能らふ見ず實馬島外は海波萬里の異域、人間の往くべき地に非ずとして自ら内に安居するまでもあふんかゝれぞ所謂巣鳥の籠城なるものにして身邊に危險多きと雖ども眼と塞ぎ耳と閉ぢ暗中の天地無事太平と夢魔そる況初ち暗邊に過度の温氣あるを触しと試えに鋭を砥ばして四邊と見れば豈ぞ圖らん身は既に燈火の城上に在りて酒客の好下物たらんとせんとは榮嶽の運命甚だ嘉なし日本人よして若し此榮嶽に鑑みて己れと警むることと知らば朝鮮交際の勞力と費用とを惜を敢て内に退縮するは愚拙を悟るあらん日本人にして一旦果して頭と縮め蓋と閉ぢたる後偶ま外來止むを得ざるの機會に促がされて頭を上ゆて四方と眺むることもあらば此時全世界中朝鮮國と稱もべき一寸の土地もあきと見出すまとあらんと苟先にも此等の事と思へば仮令へ何樣は艱苦なれとて我日本國の獨立し在る限りは朝鮮國との關係と絶ち又其交際と嘉るの理由なかるべきあり

近來朝鮮の國情を察するに大院君い支那より放免せられ京城に歸るを得さりといへども事大党閔族の權勢甚だ強盛にして君に運動の自由を許さず國内君を最憂せるの種族少ならずといへども政府に抵抗して事と成す程の力なし此際支那政府い一昨年の事變と支那兵の撤領と爲り在京城に我日本兵と王宮と攻めたる有名の袁世凱氏を全權使節として京城と駐在せしめ仁川と軍艦數艘を繫ぎ鴨綠江頭と六千の兵を屯し京城北京の間費用技手を貸與し電線と架する等其擧動の活潑豪勝と見るに